

平成20年度
長崎大学大学院教育学研究科
(修士課程)

学 生 募 集 要 項

長崎大学大学院教育学研究科

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

電 話 095 (819) 2266

目 次

学生募集要項	ページ
1 専攻及び募集人員	1
2 修業年限	3
3 出願資格	6
4 出願手続	7
5 出願書類等	8
6 1年プログラム申請書類等	10
7 選抜方法	11
8 試験期日・時間及び試験場	17
9 健康診断	19
10 合格者の発表	19
11 入学手続	19
12 入学時に必要な経費	19
13 第2次募集	19
14 奨学金	19
15 教員免許状	20
16 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について	21
17 出願上の留意事項	22
18 試験場案内図	22
19 入学志願者の個人情報の利用について	23
教育学研究科（修士課程）概要	
1 教育学研究科の専攻、目的と教育方針目的	25
2 教育学研究科の専攻、コースの概要と入学定員	26
3 教科実践専攻の専修免許プログラムの概要	28
4 教育学研究科の教育・特色	29
5 履修基準、修士論文及び学位	31

出願書類様式等

1年プログラム申請書類等

封筒（出願書類提出用、受験票等送付用）

「教育学研究科のアドミッション・ポリシー」

【教職実践専攻】

学校教育に関する理論と実践を融合することを常に試みることによって、一人ひとりの子どもたちの心身の悩みへの的確な対応力や学校教育機能を向上させることができる学校マネジメント力などを備えた高い実践力の獲得を希望する者を入学選抜の対象及び基準とする。

【教科実践専攻】

各教科の知識・技能の獲得とそれらに基づく研究能力及び教科の枠を越えた幅広い視野をもとに新しい試みを実践に展開できる高い実践能力の獲得を希望する者を入学選抜の対象及び基準とする。

平成20年度 長崎大学大学院教育学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

1 専攻及び募集人員

○教職実践専攻

教職実践専攻は、「的確な子ども理解力」を起点とした現場力の育成を目指し、児童・生徒のニーズに的確に対応することができ、学校現場でリーダーとなれる教員及び学校の機能を向上させるマネジメント能力を備えた教員の養成を目的とする。このために、教育の基本的な5領域（①教育課程の編成・実施に関する領域、②教科等の実践的な指導方法に関する領域、③生徒指導、教育相談に関する領域、④学校経営、学級経営に関する領域、⑤学校教育と教員の在り方に関する領域）に関する知識・技能を獲得し、教育現場での実践を重ねることによる教育課題解決に向けた実践力の向上を図る教育課程を編成している。

専攻	コ ー ス	概 要	募集人員
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	子どもたち一人ひとりの個性と教育的ニーズを的確に把握し、適切な指導と支援を行うことのできる高い専門知識と実践力を持ち、人格的にも優れた教員の育成を行う。	20人 (2人)
	学校運営・授業実践開発コース	活力ある学級を作り、効果的な授業を実践できるとともに、円滑な学級経営・学校運営を行うことのできる高い能力を持ち、人格的にも優れたスクールリーダーの育成を行う。	
	理科・ICT教育実践コース	児童生徒に対する深い理解や自然環境と科学技術に対する確かな理解に基づき、ICT等を効果的に活用した理科授業を行うことができる高い実践能力を持つ教員の育成を行う。(ICT: Information and Communication Technologyの略であり、情報通信技術あるいは情報コミュニケーション技術を意味する。)	
	国際理解・英語教育実践コース	日本社会の国際化に伴い、英語教育の重要性は増している。そのため、英語に関する幅広い知識と高度な運用能力を養うと同時に、国際理解を視野に入れた英語教育の実践力を備えた教員を育成する。	

(注) 1. ()内は、外国人留学生の募集人員で内数である。

○教科実践専攻

教科実践専攻は、「授業力」を起点とした現場力と研究能力の育成により、研究能力を生かした授業改善等が行える教科指導のリーダーとなる教員の養成を目的とする。このために、教科の知識・技能の習得と研究能力の育成を重視するとともに、教育現場での応用に力を入れた教科実践力の向上を図る教育課程を編成している。

専攻	コース	専修免許プログラム	概要	募集人員
教科実践専攻	言語文化と社会の教育コース	国語専修免許プログラム	国語あるいは社会の専攻分野に関する専門性を究めると同時に、人文・社会科学教育分野の専門研究を活かした実践的教育を通して、幅広い知識と応用力で言語文化と社会に関わる文化的資料を活用できる実践能力を培い、人格的にも優れた教育者となるための研究・教育を行う。	18人 (2人)
		社会専修免許プログラム		
	数理の教育コース	数学専修免許プログラム	数学に関する専門的知識とその活用能力を養うと同時に、自然界にひそむ数理の楽しさを理解できるように教育し、これらをベースに数学の高度な教育実践力を持った教員を養成する。	
	生活と身体教育コース	技術専修免許プログラム	われわれが健康で豊かな人生を送るための基盤となる「身体」・「生活」・「ものづくり」・「環境」など、体育学・家政学・テクノロジーにかかわりのある分野を対象とした専門的、かつ総合的・実践的な研究を行うとともに、それぞれの研究分野の特徴を生かした学際的な教育を行うことにより、広い視野から人間の真の幸福について考え、行動することができる高い実践能力を持った教員を育成する。	
		家庭専修免許プログラム		
		保健体育専修免許プログラム		
	芸術と文化活動の教育コース	音楽専修免許プログラム	文化活動としての芸術の意義や、人間の営みの一つである芸術活動の意味の理解を深めるとともに、音楽や美術に関する知識と表現力の向上を図る。それによって、芸術教科の高度な指導実践力を備え、その能力を社会のさまざまな場面で活用できる教員を育成する。	
		美術専修免許プログラム		

(注) 1. ()内は、外国人留学生の募集人員で内数である。

2 修業年限

1) 教職実践専攻

修業年限は2年（2年プログラム）を標準とする。この他に、1年プログラム及び3年プログラムを開設する。

I. 1年プログラム

1年プログラムは、次の要件をすべて満たす現職教員に適用される。

- ① 正規職員としての教職経験が10年以上ある者、又は、同等の教育実践経験がある者
- ② 教育職員免許状（一種）を有する者
- ③ 教育実習10単位のうち、6単位を免除される者
- ④ 1年次前期において優秀な成績を残すことができ、後期に履修上の制限を超えて、修了要件単位を修得できると判断できる者

各項目に該当するかどうかの判定は、本研究科と長崎県教育委員会等で構成する判定委員会で行う。なお、③の教育実習10単位のうち、6単位の履修免除要件は下記の通りである。

記

履修免除要件は、所属長等が各実習の履修免除が妥当であることを認めたことの外に、次の要件が必要となる。

- (1) 教育課程の編成・学習指導案作成実習Ⅱ（2単位）の履修免除は、次の項目のいずれかを満たしていること
 - ① 研究主任又は教務の主たる担当を1年以上経験している者
 - ② 教育課程の編成・学習指導案の作成に関する実践研究業績を有する者、又は、指導的地位にあった者
- (2) 生活指導・教育相談実習Ⅱ（2単位）の履修免除は、次の項目のいずれかを満たしていること
 - ① 生徒指導の主たる担当を3年以上経験している者
 - ② 教育相談担当者として1年以上従事している者
 - ③ 生徒指導・教育相談に関する実践研究業績を有する者、又は、指導的地位にあった者
- (3) 学校経営・学級経営実習Ⅱ（2単位）の履修免除は、次の項目のいずれかを満たしていること
 - ① 学級担任を5年以上経験している者
 - ② 学級経営・学年経営に関する実践研究等の業績を有する者、又は、指導的地位にあった者

また、実習の免除を願い出る者は、免除を願い出る教育実習科目に関する実践経験を述べたレポートを提出しなければならない。レポートは上述の判定委員会が評価し、免除の可否を決定する資料となる。

この判定委員会で1年プログラムの適用が可能と認められた者は、現職を離れて通常の間帯での通常履修となる。これに該当しない場合、つまり現職を離れずに勤務を継続しながらの履修を希望する場合は、教育実習の免除は適用されるが、履修期間は2年となる。

なお、正規職員としての教職経験が10年に満たない者であっても、(1)～(3)の各免除要件のうち2つ以上の要件を満たした場合には、10年以上の者と同等の教育実践経験を持つ者とみなされる。

1年プログラムの履修が可能であると判定された入学希望者に対する選抜方法については、2年プログラムとは別に定める。

Ⅱ. 2年プログラム

出願資格のいずれかに該当する者で、教育職員免許状（一種）を有する者、あるいは平成20年3月までに取得見込みの者に適用される。

Ⅲ. 3年プログラム

出願資格のいずれかに該当する者で、教育職員免許状を有しない者、あるいは教育職員免許状（一種）を有しない者に適用される。

2) 教科実践専攻

修業年限は2年（2年プログラム）を標準とする。この他に、1年プログラム及び3年プログラムを開設する。

I. 1年プログラム

1年プログラムは、次の要件をすべて満たす現職教員に適用される。

- ① 正規職員としての教職経験が10年以上ある者、又は、同等の教育実践経験がある者
- ② 履修する分野に関する研究成果を公表している者
- ③ 大学院受験時に明確な研究テーマを持ち、研究を進めている者

なお、各項目に該当するかどうかの判定は、本研究科と長崎県教育委員会等で構成する判定委員会で行う。

この判定委員会で1年プログラムの適用が可能と認められた者は、現職を離れて通常の間帯での通常履修となる。これに該当しない場合、つまり現職を離れずに勤務を継続しながらの履修を希望する場合は、履修期間は2年となる。

1年プログラムの履修が可能であると判定された入学希望者に対する選抜方法については、2年プログラムとは別に定める。

II. 2年プログラム

出願資格のいずれかに該当する者に適用される。

III. 3年プログラム

出願資格のいずれかに該当する者で、教育職員免許状を有しない者、あるいは、教育職員免許状（一種）を有しない者で教育職員免許状（専修）の取得を希望する者に適用される。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校又は特別支援学校に勤務する教育職員免許状（一種）を有する現職教員
- (2) 学部段階で教員としての基礎的・基本的な資質能力を習得した者（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校のいずれかの教育職員免許状（一種）を有するか、平成20年3月までに取得見込の者）
- (3) 大学を卒業した者及び平成20年3月までに卒業見込みの者
- (4) 学校教育法第68条の2第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成20年3月までに授与される見込みの者
- (5) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成20年3月までに修了見込みの者〔(注)2.〕
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成20年3月までに修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成20年3月までに修了見込みの者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成20年3月までに修了見込みの者
- (9) 文部科学大臣の指定した者〔昭和28年2月7日文部省告示第5号参照〔(注)1.〕〕
- (10) 学校教育法第67条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (11) 平成20年3月末現在において大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者〔(注)3.〕
- (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成20年3月31日までに22歳に達する者〔(注)3.〕
(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等)

(注) 1. 昭和28年2月7日文部省告示第5号（抄）

「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者で平成20年3月31日までに22歳に達するもの」等である。

2. 上記（5）については、あらかじめ本研究科に必ず問い合わせること。

3. 出願資格の（11）及び（12）により出願する者は、資格審査を行うので、事前に長崎大学教育学部学務係へ「出願資格認定関係書類」を請求し、必要事項を記入の上、平成20年1月9日（水）までに必着するよう提出すること。

なお、出願資格認定審査は本研究科で行い、平成20年1月15日（火）に本人へ通知するので、出願資格有りの認定を受けた者は、次の「4 出願手続」の要領により出願すること。

4 出願手続

(1) 出願期間及び出願書類

〔1年プログラム申請者〕

出願期間：平成20年1月7日（月）～ 1月15日（火）〔土・日曜日は除く〕

出願書類：P8～P9の出願書類等一式（ただし、検定料は除く。検定料納付証明書貼付票は切り離して保管し判定結果通知後、検定料を下記検定料振込期間に納付のこと）及びP10の1年プログラム申請書類等一式

- ① 本研究科所定の「出願用封筒」を使用すること。（持参の場合も）
- ② 期間中、9時から16時まで受け付ける。
- ③ 郵送の場合は、「速達書留」とし、1月15日（火）までに必着のこと。

なお、1年プログラム出願資格判定審査は本研究科と長崎県教育委員会等で構成する判定委員会で行い、判定の結果は、平成20年1月16日（水）に本人へ通知するので、1年プログラム出願資格有りの判定を受け1年プログラムに出願する者、又は、1年プログラム出願資格無し判定を受け2年プログラムに出願する者は、次の期間に検定料を納付すること。

検定料振込期間：平成20年1月17日（木）～1月23日（水）

※銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行うこと。

〔2年プログラム・3年プログラム申請者〕

出願期間：平成20年1月15日（火）～ 1月23日（水）〔土・日曜日は除く〕

出願書類：P8～P9の出願書類一式

検定料振込期間：平成20年1月15日（火）～ 1月23日（水）

※銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行うこと。

- ① 本研究科所定の「出願用封筒」を使用すること。（持参の場合も）
- ② 期間中、9時から16時まで受け付ける。
- ③ 郵送の場合は、「速達書留」とし、1月23日（水）までに必着のこと。
- ④ 検定料を最終日に振り込む場合は、その後、当日16時までに提出書類一式を提出しなければならないので注意すること。

(2) 出願書類等提出先

〒852-8521

長崎市文教町1番14号

長崎大学教育学部学務係

5 出願書類等

区 分	摘 要	提出該当者
検 定 料	<p>30,000円</p> <p>(1) 振込期間 平成20年1月15日(火)～1月23日(水) ※銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行うこと。</p> <p>(2) 振込場所 各種銀行の受付窓口 (ATMは使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。)</p> <p>(3) 振込方法 ア 振込時に別途必要な振込手数料は、入学志願者本人の負担となる。 イ 「振込書」の※に、入学志願者の住所・氏名(フリガナ)及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。 ウ 「検定料納付証明書」を受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認すること。</p> <p>(4) 出願に際しての留意事項 ア 検定料納付証明書貼付票に検定料を振込済の「検定料納付証明書」を貼り付けた後に記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい検定料納付証明書貼付票に書き替えなければならない場合は、検定料は二重に振り込まないこと。その場合は、貼付済の「検定料納付証明書」を切り取って、新しい検定料納付証明書貼付票に貼り付けること。 イ 検定料が振り込まれていない場合、振込済の「検定料納付証明書」が検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合、及び「検定料納付証明書」に取扱銀行収納印が押印されていない場合は出願を受理しない。</p> <p>(5) 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により、当該検定料相当額は返還する。 返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。 ※返還に関する問い合わせ先 長崎大学財務部経理課資金班 TEL. 095-819-2060</p>	全 員
入 学 志 願 票 (様式1)	<p>本研究科所定の用紙により、※印以外の所定の欄はすべて記入すること。写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3ヶ月以内に撮影したものを貼付すること。</p>	全 員
写 真 票 ・ 受 験 票 (様式2・様式3)		
検定料納付証明書貼付票 (様式4)	住所、氏名を記入の上、各種銀行の「取扱銀行収納印」が押印された「検定料納付証明書」を貼り付けること。	全 員
成 績 証 明 書	最終教育課程のもの。	全 員
卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見 込証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。	全 員

区 分	摘 要	提出該当者
学位授与証明書	「大学評価・学位授与機構」が作成したもの。	出願資格の (4) 該当者
①教育職員免許状授与証明書又は②教育職員免許状の写し又は③教育職員免許状取得見込証明書	①授与証明書は教育職員免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。②有する教育職員免許状を複写し、それに所属する学校長の原本と相違ない旨の証明を付したもの。③教育職員免許状取得見込証明書は出身大学長又は学部長が作成したもの。	教職実践専攻 1年プログラム 2年プログラム 志願者 又は出願資格の (9) 該当者
健康診断書 (様式5)	本研究科所定の用紙により、出願前3ヶ月以内に作成のもの。	全 員
研究計画書 (様式6)	本研究科所定の用紙によること。 ※国際理解・英語教育実践コース志願者のみは、様式6-2(英語による記述)によること。	全 員
論文・作品等	選択科目で、筆記試験を選択した者は美術に関する論文又はレポートを、実技試験を選択した者は作品の写真を提出すること。 (写し可。外国人留学生は日本語による概要を添付すること。)	芸術と文化活動の教育コース・美術専修免許プログラム志願者
受験承諾書 (様式7)	本研究科所定の用紙により、在学している大学の学長又は研究科長が作成したもの。	大学院在学者
	本研究科所定の用紙により所属長が作成したもの。	現職教員等で、 現職のまま入学を希望する者
外国人登録済証明書 又はパスポートの写し	在留資格、在留期間が明示されたもの。	外国人留学生
受験票等送付用封筒	本研究科所定の封筒によること(受験票等の返送に使用するので、郵便番号・住所・氏名を明記の上、350円切手(速達)を貼付すること)。	全 員
住 所 届 (様式8)	本研究科所定の用紙により、郵便番号・住所・氏名等を明記すること。	全 員
戸籍抄本(謄本)	上の各種証明書等に記載された氏名が、改姓等により現氏名と異なる場合には、戸籍抄本(謄本)を提出すること。	左記該当者

(注) 外国人留学生は提出書類中、外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付すること。

6 1年プログラム申請書類等

○教職実践専攻

区 分	摘 要	提出該当者
推 薦 書 (様式9)	本研究科所定の用紙により、所属長等が作成したもの。	教職実践専攻 1年プログラ ム志願者
教 職 経 験 証 明 書 (様式10)	本研究科所定の用紙により、所属長等が作成したもの。	
研 究 業 績 書 (様式11)	本研究科所定の用紙により提出すること。その際、研究業績書に記載した研究報告・論文・作品等（原本又は写し）を添付すること。	
レ ポ ー ト (様式12)	本研究科所定の用紙によること。	
教育職員免許状授与 証明書又は教育職員 免許状の写し	授与証明書は教育職員免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの又は有する教育職員免許状を複写し、それに所属する学校長の原本と相違ない旨の証明を付したもの。	

○教科実践専攻

区 分	摘 要	提出該当者
推 薦 書 (様式13)	本研究科所定の用紙により、所属長等が作成したもの。	教科実践専攻 1年プログラ ム志願者
教 職 経 験 証 明 書 (様式14)	本研究科所定の用紙により、所属長等が作成したもの。	
研 究 業 績 書 (様式15)	本研究科所定の用紙により提出すること。その際、研究業績書に記載した研究報告・論文・作品等（原本又は写し）を添付すること。	

7 選抜方法

I. 一般選抜方法

入学者の選抜は、学力検査〔筆記試験（実技を含む）及び口述試験〕、その他提出された書類審査及び健康診断書等の結果を総合して行う。

ただし、現職教員（10年以上の教職経験が必要）が、1年プログラムの履修を希望する場合は、本研究科と長崎県教育委員会等で構成する判定委員会で審査を行うため、事前に本研究科に必ず問い合わせること。

学力検査科目

（1）1年プログラム

学力検査は、教職実践専攻及び教科実践専攻とも、提出された書類に基づき口述試験を行う。

（2）2年プログラム・3年プログラム

○教職実践専攻

専攻	コ ー ス	筆記試験（実技を含む）		口述試験
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	1. 共通科目：学校教育に関する問題 ① 教育課程の編成・実施に関する分野 ② 教科等の実践的な指導方法 ③ 生徒指導に関わる分野 ④ 学校経営・学級経営に関する分野 ⑤ 教員の在り方に関わる分野	〔2年プログラム〕 「児童生徒理解に関する分野」、「生徒指導に関する分野」、「特別支援教育に関する分野」から1つを選択。	志望の動機等提出された書類に基づき、口述試験を行う。
	学校運営・授業実践開発コース		〔3年プログラム〕 「児童生徒理解に関する分野」、「生徒指導に関する分野」、「特別支援教育に関する分野」から1つを選択。	
			〔2年プログラム〕 「カリキュラムと授業研究に関する分野」、「学校経営と学級経営に関する分野」から1つを選択。	
	理科・ICT教育実践コース		〔3年プログラム〕 「カリキュラムと授業研究に関する分野」、「学校経営と学級経営に関する分野」から1つを選択。	
			〔2年プログラム〕 ○「理科教育」、「ICT活用」から1つを選択。 ○「自然科学A」（物理・化学分野）、「自然科学B」（生物・地学分野）、「ICT基礎」（情報処理、情報システム、情報通信ネットワーク等）から1つを選択。	理科教育及びICT活用について試問する。
	国際理解・英語教育実践コース		〔3年プログラム〕 ○小論文（「理科教育」又は「ICT活用」にかかわるもの） ○「自然科学A」（物理・化学分野）、「自然科学B」（生物・地学分野）、「ICT基礎」（情報処理、情報システム、情報通信ネットワーク等）から1つを選択。	〔2年プログラム〕 ○「英語科教育」（必須）（辞書持込み不可） ○「英語学」、「英米文学」から1つを選択（辞書持込み不可）。 〔3年プログラム〕 ○「英語」（必須）（辞書持込み不可） ○「英語科教育」、「英語学」、「英米文学」から1つを選択（辞書持込み不可）。

○教科実践専攻

専攻	コース	筆記試験（実技を含む）	口述試験
教科実践専攻	言語文化と社会の教育コース 国語専修免許プログラム	〔2年プログラム〕 1. 基礎科目 「国語教育と国語基礎」、「社会科教育」から1つを選択。 2. 専門科目 「国語科教育」、「国語学」、「国文学」、「漢文学」、「書写書道（実技を含む）」、「西洋史」、「地理学」、「法律学」、「政治学」、「経済学」、「哲学・倫理学」、「社会科教育」から1つを選択。 ただし、「西洋史」は英語の出題を含む（辞書持込み可、電子辞書は不可）。なお、選択する科目は入学後に研究指導を受ける予定の分野であること。	主として研究計画書の内容について試問する。
	社会専修免許プログラム	〔3年プログラム〕 1. 基礎科目 「国語基礎」、「社会科基礎」から1つを選択。 2. 専門科目 「国語科教育」、「国語学」、「国文学」、「漢文学」、「書写書道（実技を含む）」、「西洋史」、「地理学」、「法律学」、「政治学」、「経済学」、「哲学・倫理学」、「社会科教育」から1つを選択。 ただし、「西洋史」は英語の出題を含む（辞書持込み可、電子辞書は不可）。なお、選択する科目は入学後に研究指導を受ける予定の分野であること。	
	数理の教育コース 数学専修免許プログラム	〔2年プログラム〕 ○外国語（英語）（辞書持込み可、電子辞書は不可） ○専門科目 「数学科教育」と「数学の基礎」 〔3年プログラム〕 ○外国語（英語）（辞書持込み可、電子辞書は不可） ○専門科目 「数学科教育」と「数学の基礎」	主として「数学科教育」と「数学」の分野にかかわる内容について試問する。
生活と身体 の教育コース	技術専修免許プログラム 日常生活の諸事項に関する以下の出題のいずれか1つを選択。 ○小論文 ○外国語（英語）（辞書持込み可、電子辞書は不可）	〔2年プログラム・3年プログラム共通〕 次の3つの総合科目の中から志望する専修免許プログラムに関わるいずれか1つを選択。 ○技術総合科目 「技術科教育」、「材料・加工」、「機械、電気（情報を含む）」に関する知識を問う。 ○家庭総合科目 「家庭科教育」、「被服学」、「家庭経営学」、「住居学」に関する知識を問う。 ○保健体育総合科目 「体育科教育」、「運動学」、「体育学」、「学校保健」に関する知識を問う。	志望の動機、研究計画書の内容等について試問する。
	保健体育専修免許プログラム		

専攻	コース	筆記試験（実技を含む）	口述試験
教科実践専攻	音楽専修免許プログラム	<p>[2年プログラム・3年プログラム共通] 以下に示すA～Kの選択課題（実技を含む）から1つを選択。 [選択課題・音楽] A「音楽科教育」 （1）「音楽科教育」の専門的な知見を問う筆記試験 （2）中学校・高等学校の教材程度の楽曲を演奏する（声楽又は器楽で演奏は5分以内とする）。 B「声楽」 任意の歌曲又はオペラのアリア（7分程度）を暗譜で歌う。（演奏は中断させることがある）。ピアノ伴奏を必要とする場合は、受験者が同伴すること。 C「器楽」・「管弦楽器」 任意の楽曲を演奏する（演奏は中断させることがある）。ピアノ伴奏を必要とする場合は、受験者が同伴すること。 D「器楽・ピアノ」 （1）任意の独奏曲を暗譜、繰り返しなしで演奏する（演奏は中断させることがある）。 （2）初見視奏を課す。 E「作曲」 任意の編成による自作の楽曲を一曲、出願時に楽譜で提出することとし、当日の試験は和声学とする（自作の曲声楽曲、器楽曲の別を問わない）。</p>	音楽や美術などの芸術に関する歴史や理論、研究計画書及び志望する選択科目について試問する。
	美術専修免許プログラム	<p>[選択課題・美術] F「美術科教育」 筆記試験 G「美術理論」・「美術史」 筆記試験 H「絵画」 水彩による （用意するもの） 水性絵の具一式、鉛筆（あるいは墨、黒インクも可） I「彫刻」 人体をモチーフとした塑造 （用意するもの） 塑造制作用具一式（制作ベラ、クロッキー帳、鉛筆等）及び塑造用芯棒制作用具（ペンチ、鋸、のみ等） J「デザイン」 プレゼンテーション・ボードの作成 （用意するもの） ノートパソコン及びプリンタ（A4サイズのプリンタ用紙及びプリンタケーブルを含む）（デスクトップパソコンは不可） K「工芸（陶芸）」 手びねりによる （用意するもの） 手びねりに必要な用具（粘土ベラ、切り糸、鉛筆等）</p>	

(注) 1. 筆記試験の選択科目又は選択課題は、入学志願票、写真票及び受験票の該当欄に受験する科目又は課題を記入すること。

II. 外国人留学生選抜方法

入学者の選抜は、学力検査〔筆記試験（実技を含む）〕、面接、提出された書類審査及び健康診断書等の結果を総合して行う。

学力検査科目

○教職実践専攻

専攻	コース	筆記試験（実技を含む）	面接
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	〔2年プログラム〕 「児童生徒理解に関する分野」、「生徒指導に関する分野」、「特別支援教育に関する分野」から1つを選択。 〔3年プログラム〕 「児童生徒理解に関する分野」、「生徒指導に関する分野」、「特別支援教育に関する分野」から1つを選択。	志願者の修学条件、研究意欲、研究能力及び日本語の会話能力について行う。
	学校運営・授業実践開発コース	〔2年プログラム〕 「カリキュラムと授業研究に関する分野」、「学校経営と学級経営に関する分野」から1つを選択。 〔3年プログラム〕 「カリキュラムと授業研究に関する分野」、「学校経営と学級経営に関する分野」から1つを選択。	
	理科・ICT教育実践コース	〔2年プログラム〕 ○「理科教育」、「ICT活用」から1つを選択。 ○「自然科学A」（物理・化学分野）、「自然科学B」（生物・地学分野）、「ICT基礎」（情報処理、情報システム、情報通信ネットワーク等）から1つを選択。 〔3年プログラム〕 ○小論文（「理科教育」又は「ICT活用」にかかわるもの） ○「自然科学A」（物理・化学分野）、「自然科学B」（生物・地学分野）、「ICT基礎」（情報処理、情報システム、情報通信ネットワーク等）から1つを選択。	
	国際理解・英語教育実践コース	〔2年プログラム〕 ○「英語科教育」（必須）（辞書持込み不可） ○「英語学」、「英米文学」から1つを選択（辞書持込み不可）。 〔3年プログラム〕 ○「英語」（必須）（辞書持込み不可） ○「英語科教育」、「英語学」、「英米文学」から1つを選択（辞書持込み不可）。	

○教科実践専攻

専攻	コ ー ス		筆記試験（実技を含む）	面 接
教科実践専攻	言語文化と社会の教育コース	国語専修免許プログラム	<p>〔2年プログラム〕</p> <p>1. 基礎科目 「国語教育と国語基礎」、「社会科教育」から1つを選択。</p> <p>2. 専門科目 「国語科教育」、「国語学」、「国文学」、「漢文学」、「書写書道（実技を含む）」、「西洋史」、「地理学」、「法律学」、「政治学」、「経済学」、「哲学・倫理学」、「社会科教育」から1つを選択。 ただし、「西洋史」は英語の出題を含む（辞書持込み可、電子辞書は不可）。なお、選択する科目は入学後に研究指導を受ける予定の分野であること。</p> <p>〔3年プログラム〕</p> <p>1. 基礎科目 「国語基礎」、「社会科基礎」から1つを選択。</p> <p>2. 専門科目 「国語科教育」、「国語学」、「国文学」、「漢文学」、「書写書道（実技を含む）」、「西洋史」、「地理学」、「法律学」、「政治学」、「経済学」、「哲学・倫理学」、「社会科教育」から1つを選択。 ただし、「西洋史」は英語の出題を含む（辞書持込み可、電子辞書は不可）。なお、選択する科目は入学後に研究指導を受ける予定の分野であること。</p>	<p>志願者の修学条件、研究計画、研究意欲、研究能力及び日本語の会話・読解能力について行う。</p>
		社会専修免許プログラム	<p>〔2年プログラム・3年プログラム共通〕</p> <p>○「数学科教育」と「数学の基礎」</p>	<p>志願者の研究計画、研究能力及び日本語の会話能力について行う。</p>
	数理の教育コース	数学専修免許プログラム	<p>〔2年プログラム・3年プログラム共通〕</p> <p>○「数学科教育」と「数学の基礎」</p>	<p>志願者の研究計画、研究能力及び日本語の会話能力について行う。</p>
生活と身体の教育コース	技術専修免許プログラム	<p>日常生活の諸事項に関する以下の出題のいずれか一つを選択</p> <p>○小論文</p> <p>○外国語（英語）（辞書持込み可、電子辞書は不可）</p>	<p>〔2年プログラム・3年プログラム共通〕</p> <p>次の3つの総合科目の中から志望する専修免許プログラムに関わるいずれか1つを選択。</p> <p>○技術総合科目 「技術科教育」、「材料・加工」、「機械、電気（情報を含む）」に関する知識を問う。</p> <p>○家庭総合科目 「家庭科教育」、「被服学」、「家庭経営学」、「住居学」に関する知識を問う。</p> <p>○保健体育総合科目 「体育科教育」、「運動学」、「体育学」、「学校保健」に関する知識を問う。</p>	<p>志願者の修学条件、研究意欲、研究能力及び日本語の会話能力についての面接を行う。</p>
	家庭専修免許プログラム			
	保健体育専修免許プログラム			

専攻	コース	筆記試験（実技を含む）	面接
教科実践専攻	音楽専修免許プログラム	<p>[2年プログラム・3年プログラム共通] 以下に示すA～Kの選択課題（実技を含む）から1つを選択。 [選択課題・音楽] A「音楽科教育」 （1）「音楽科教育」の専門的な知見を問う筆記試験 （2）中学校・高等学校の教材程度の楽曲を演奏する（声楽又は器楽で演奏は5分以内とする）。 B「声楽」 任意の歌曲又はオペラのアリア（7分程度）を暗譜で歌う。（演奏は中断させることがある）。ピアノ伴奏を必要とする場合は、受験者が同伴すること。 C「器楽」・「管弦楽器」 任意の楽曲を演奏する（演奏は中断させることがある）。ピアノ伴奏を必要とする場合は、受験者が同伴すること。 D「器楽・ピアノ」 （1）任意の独奏曲を暗譜、繰り返しなしで演奏する（演奏は中断させることがある）。 （2）初見視奏を課す。 E「作曲」 任意の編成による自作の楽曲を一曲、出願時に楽譜で提出することとし、当日の試験は和声学とする（自作の曲声楽曲、器楽曲の別を問わない）。</p>	志願者の修学条件、研究意欲、研究能力及び日本語の会話能力について行う。又、美術プログラムについては、論文又は実作品等を持参させることにより行う。
	美術専修免許プログラム	<p>[選択課題・美術] F「美術科教育」 筆記試験 G「美術理論」・「美術史」 筆記試験 H「絵画」 水彩による （用意するもの） 水性絵の具一式、鉛筆（あるいは墨、黒インクも可） I「彫刻」 人体をモチーフとした塑造 （用意するもの） 塑造制作用具一式（制作ベラ、クロッキー帳、鉛筆等）及び塑造用芯棒制作用具（ペンチ、鋸、のみ等） J「デザイン」 プレゼンテーション・ボードの作成 （用意するもの） ノートパソコン及びプリンタ（A4サイズのプリンタ用紙及びプリンタケーブルを含む）（デスクトップパソコンは不可） K「工芸（陶芸）」 手びねりによる （用意するもの） 手びねりに必要な用具（粘土ベラ、切り糸、鉛筆等）</p>	

- (注) 1. 筆記試験の選択科目又は選択課題は、入学志願票、写真票及び受験票の該当欄に受験する科目又は課題を記入すること。
2. 筆記試験の解答は日本語とする。ただし、数理の教育コースについては日本語又は英語、国際理解・英語教育実践コースについては日本語及び英語とする。

8 試験期日・時間及び試験場

(1) 試験期日及び時間

① 一般選抜

専攻	コース・プログラム		2月2日(土)		
			筆記試験(実技を含む)		口述試験
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース		専攻共通科目 9:30~ 10:30	コース別科目 10:50~12:20	13:30~
	学校運営・授業実践開発コース				
	理科・ICT教育実践コース				
	国際理解・英語教育実践コース				
教科実践専攻	教育言語文化と社会のコース	国語専修免許プログラム	基礎科目 9:30~ 10:30	専門科目 10:50~12:20	13:30~
		社会専修免許プログラム			
	教育数理のコース	数学専修免許プログラム	外国語(英語) 9:00~ 9:50	専門科目 10:10~12:10	13:30~
	教育生活と身体のコース	技術専修免許プログラム	コース共通科目 9:00~ 10:00	専修免許別専門科目 10:20~11:50	13:30~
		家庭専修免許プログラム			
		保健体育専修免許プログラム			
	教育芸術と文化活動のコース	音楽専修免許プログラム	選択課題 10:00~12:00		13:30~
		美術専修免許プログラム	「美術科教育」、「美術理論」・「美術史」 10:30~12:00		
「絵画」、「デザイン」、「工芸(陶芸)」 10:00~12:00					
「彫刻」 9:00~12:00					

② 外国人留学生選抜

専攻	コース・プログラム		2月2日(土)		
			筆記試験(実技を含む)		面接
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース		専攻共通科目 9:30~ 10:30	コース別科目 10:50~12:20	13:30~
	学校運営・授業実践開発コース				
	理科・ICT教育実践コース				
	国際理解・英語教育実践コース				
教科実践専攻	教育言語文化と社会のコース	国語専修免許プログラム	基礎科目 9:30~ 10:30	専門科目 10:50~12:20	13:30~
		社会専修免許プログラム			
	教育数理のコース	数学専修免許プログラム	外国語(英語) 9:00~ 9:50	専門科目 10:10~12:10	13:30~
	教育生活と身体性のコース	技術専修免許プログラム	コース共通科目 9:00~ 10:00	専修免許別専門科目 10:20~11:50	13:30~
		家庭専修免許プログラム			
		保健体育専修免許プログラム			
	教育芸術と文化活動のコース	音楽専修免許プログラム	選択課題 10:00~12:00		
美術専修免許プログラム		「美術科教育」、「美術理論」・「美術史」 10:30~12:00			
		「絵画」、「デザイン」、「工芸(陶芸)」 10:00~12:00			
		「彫刻」 9:00~12:00			

③ 受験上の注意

1. 受験者は、試験開始5分前までに、入室、着席すること。
2. 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できない。
3. 受験票を必ず持参すること。

(2) 試験場

長崎大学教育学部 (長崎市文教町1番14号)

各試験室、集合場所等は、試験日の前日(午後)及び当日に教育学部玄関前に掲示する。

9 健康診断

志願者から提出された健康診断書により書類審査を行う。審査の結果、再検査を必要とする者については、2月2日(土)試験場において本人に通知し、後日再検査を行う。

10 合格者の発表

平成20年2月15日(金) 10時

教育学部玄関前に掲示(～17時)するとともに、合格者に対しては本人へも通知する。

なお、電話による可否についての問い合わせには一切応じない(FAX・電話による通知も一切行わない)。

11 入学手続

平成20年3月12日(水)から3月14日(金)

合格者への入学手続関係書類は、2月下旬頃送付する(郵送により入学手続を行うことは可能であるが、手続期間内に必着するよう郵送すること)。

なお、詳細については別途通知する。

12 入学時に必要な経費

入 学 料 : 282,000円

授業料(前期分): 267,900円 [年額535,800円] 参考:平成19年度の授業料額

- ① 既納の入学料は、返還しない。
- ② 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月になる。
- ③ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続関係書類で知らせる。
- ④ 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
- ⑤ 授業料は、改定される可能性がある。

13 第2次募集

募集人員に欠員が生じた場合は、追加募集を行うので、追加募集の有無については、平成20年2月下旬頃に長崎大学教育学部学務係へ問い合わせること。

14 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構法に基づき、願い出により選考のうえ、第一種奨学金(無利子)・第二種奨学金(有利子)が貸与される。

15 教員免許状

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭及び幼稚園教諭の一種免許状を有する者は、本研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得することにより、それぞれに対応する専修免許状を次表のとおり取得することができる。

専攻	コース・プログラム		取得できる専修免許状		
			種類	教科・領域	
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース 学校運営・授業実践開発コース 理科・ICT教育実践コース 国際理解・英語教育実践コース		小学校教諭専修免許状		
			中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
			高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、家庭、工業、英語、情報	
			特別支援学校教諭専修免許状	知的障害者、肢体不自由者、病弱者	
			幼稚園教諭専修免許状		
教科実践専攻	言語文化と社会の教育コース	国語専修免許プログラム	小学校教諭専修免許状		
			中学校教諭専修免許状	国語	
			高等学校教諭専修免許状	国語、書道	
			幼稚園教諭専修免許状		
	社会専修免許プログラム	社会専修免許プログラム	小学校教諭専修免許状		
			中学校教諭専修免許状	社会	
			高等学校教諭専修免許状	地理歴史、公民	
	数理の教育コース	数学専修免許プログラム	小学校教諭専修免許状		
			中学校教諭専修免許状	数学	
			高等学校教諭専修免許状	数学	
			幼稚園教諭専修免許状		
	生活と身体教育コース	技術専修免許プログラム	技術専修免許プログラム	中学校教諭専修免許状	技術
				高等学校教諭専修免許状	工業
		家庭専修免許プログラム	家庭専修免許プログラム	小学校教諭専修免許状	
				中学校教諭専修免許状	家庭
				高等学校教諭専修免許状	家庭
		保健体育専修免許プログラム	保健体育専修免許プログラム	小学校教諭専修免許状	
				中学校教諭専修免許状	保健体育
				高等学校教諭専修免許状	保健体育
	幼稚園教諭専修免許状				

専攻	コース・プログラム		取得できる専修免許状	
			種 類	教 科・領 域
教科実践専攻	芸術と文化活動の教育コース	音楽専修免許プログラム	小学校教諭専修免許状	
			中学校教諭専修免許状	音楽
			高等学校教諭専修免許状	音楽
			幼稚園教諭専修免許状	
		美術専修免許プログラム	小学校教諭専修免許状	
			中学校教諭専修免許状	美術
			高等学校教諭専修免許状	美術
			幼稚園教諭専修免許状	

16 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置の適用を希望する現職教員等に対しては、高等教育を受ける機会を拡大するための措置を次のとおり実施する。

(1) 修業年限

この特例の適用を受ける者は、修業年限2年間のうち、後半の1年間は夜間等における履修を認める。

(2) 履修方法

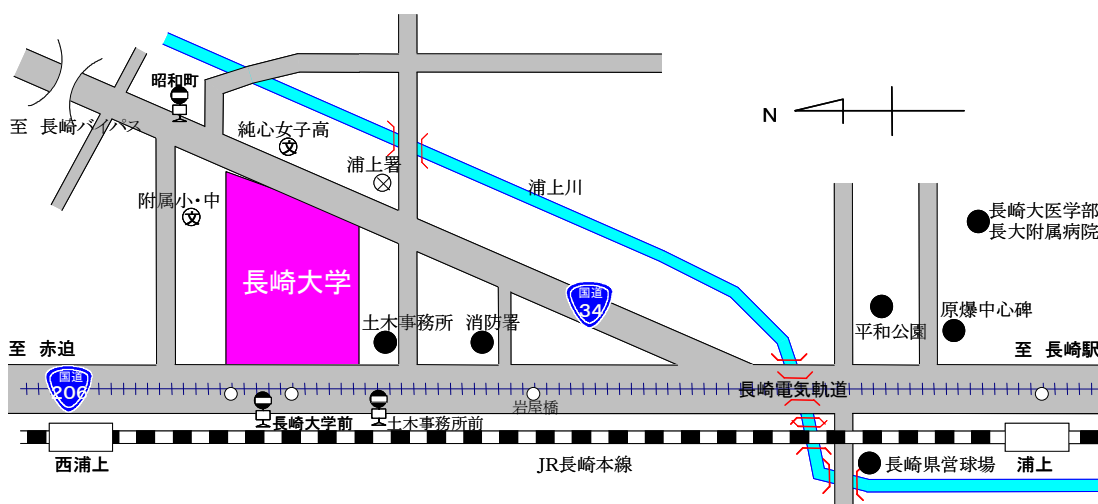
- ① 特例を適用する場合、現職教員等は2年間のうち、最初の1年間は現職を離れて通常の間帯の通学履修を原則とする。
- ② 後半の1年間は在職校等で勤務しながら、週1回以上定期的に通学し夜間の間帯で研究指導を受ける。
- ③ 特例による授業間帯は夜間（Ⅵ校時 18時00分～19時30分、Ⅶ校時 19時40分～21時10分）及び夏季・冬季休業期間とし、必要に応じて特定の曜日にも授業を行う。

17 出願上の留意事項

- (1) 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受け付けない。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記載事項及び書類の変更は認めない。
虚偽の記載があった場合には、入学後であっても入学を取り消すことがある。
また、入学検定料の払い戻しは行わない。
- (3) 3の出願資格の(11)により、本研究科に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、退学となる。
したがって、国家試験等の資格試験の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件としているものについては、受験資格がないことになる。
- (4) 「住所届(合格通知用・入学手続書類送付用)」
合格通知書及び入学手続書類の送付あて先となるので、正確に記入すること。
- (5) 出願書類等の請求は、封筒に「大学院教育学研究科(修士課程)学生募集要項請求」と朱書き、あて名明記の返信用封筒(角形2号 240円切手貼付、速達の場合 540円)を同封の上、下記あてを行うこと。

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学教育学部学務係
電話 095-819-2266

18 試験場案内図



交通機関

(1) JR利用の場合

JR長崎駅前又は浦上駅前から

〔路面電車:「赤迫」行き
長崎バス:「住吉」経由の北部方面行き〕に乗車し、「長崎大学前」下車。
(徒歩約5分)

(2) 航空機利用の場合

長崎空港(大村市)から長崎方面(浦上経由)行き県営バスに乗り、「昭和町」バス停下車。
(徒歩約10分)

(3) 高速バス(昭和町・浦上経由)利用の場合

長崎市内「昭和町」バス停下車。(徒歩約10分)

19 入学志願者の個人情報の利用について

- (1) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜で利用するほか、住所・氏名を合格者に対する入学手続の案内業務に利用します。
- (2) 出願書類に記載された個人情報は、入学者選抜後本学への入学を許可された者について、学籍関係業務等に利用します。
- (3) 入学者選抜試験の成績及びその他の個人情報は、1年次における奨学生への推薦資料並びに入学料免除及び授業料免除等の選考資料として利用します。
- (4) 入学者選抜試験で利用した個人情報は、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査・研究資料として利用します。
- (5) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜試験の結果等の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはありません。

